

令和3年度 教育委員会点検・評価報告書
【令和2年度事業】

令和4年3月
西予市教育委員会

目 次

はじめに	1
I 令和2年度（令和元年度事業）学識経験者の意見への対応状況	2
II 西予市教育振興基本計画（令和2年6月策定）について	4
III 西予市教育委員会の点検・評価について	6
IV 点検・評価結果	
IV-1 教育委員会の活動状況	8
1 委員選任状況	8
2 会議開催状況	8
3 委員会議以外の活動状況	9
4 主な活動実績一覧	10
IV-2 施策別の点検・評価結果	12
1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧	12
2 施策及び主な取組事業の点検・評価結果	13
重点目標1「生きる力」を育む学校教育の推進	
(1) 確かな学力の育成	13
(3) 健やかな体の育成	17
(5) 特別支援教育の推進	20
(7) 安全・安心な学校づくりの推進	22
(9) よりよい教育環境づくりの実現	23
重点目標2 ライフステージに応じた社会教育の推進	
(1) 生涯学習の推進	26
(2) 公民館活動の推進	27
(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	33
(5) 図書館活動の推進	35
重点目標3 人生を豊かにする文化芸術の振興	
(1) 文化財の保護と活用	37
(2) 文化の振興	42
(3) 文化活動の環境と基盤の整備	44
重点目標4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	
(1) スポーツの普及・推進	46
(2) 施設の有効活用とトップアスリート等との交流推進	48
V 学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性	49

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）（以下「法律」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、効果的な教育行政に資するとともに住民への説明責任を果たすため、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務付けられました。

また、いじめ問題を契機とした教育委員会の責任所在の不明確さ、危機管理能力の低さなどの課題も指摘されたことから、国においては教育委員会の存続を含めた制度の見直しの議論がなされました。そして、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るための教育委員会制度改革が法律の一部改正により、平成 27 年 4 月から施行されました。

一方、平成18年に改正された教育基本法では、知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間、公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民、わが国の伝統文化を基礎として国際社会を生きる日本人の育成を目指すことが明確にされており、これを踏まえた教育施策の展開も求められております。これを受けて、西予市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、学校教育及び社会教育の一層の充実を図るため、市総合計画と整合性を図りながら、今後目指すべき教育の基本的方向性や重点的に取り組むべき教育施策を明らかにした「西予市教育振興基本計画」を平成26年3月に策定しました。その後、平成27年度に第2次市総合計画が策定されたことに伴い、教育委員会では、本基本計画の一部改訂を平成28年3月及び令和2年6月に行っております。

今回、今後のさらなる効果的な教育行政の推進に資するために、学識経験者のご意見をいただきながら、令和2年度に実施した事業について、教育委員会が点検・評価した結果を報告書としてまとめましたので、ご覧いただき、ご意見・ご要望をお寄せいただくことで、よりよい教育の実現をめざして、取り組みを進めてまいります。

令和4年3月

西予市教育委員会

I 学識経験者の意見への対応状況

令和元年度事業の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価における学識経験者からいただいた意見等について、令和2年度の西予市教育委員会の対応状況は以下のとおりです。

評価・意見（令和元年度事業）	対応状況 （令和2年度の取組）
1 「生きる力」を育む学校教育の推進	
(1) 確かな学力の育成	評価結果<概ね順調>
<p>①生徒国際交流事業については、非常に良い事業だと思う。生徒にとっては、一生忘れられないような事業で、今後の生き方にすごくプラスになると思うので、継続していただくようお願いしたい。</p> <p>長年にわたり継続しているので、国際交流事業に参加した生徒の意見発表の場を設け、各中学校で開催するなど、参加した生徒の直の声を伝える場があればいいと思う。</p> <p>参加した生徒の追跡調査をし、例えば国際交流関係の仕事に就いているとか、地元に残ってこのようなことをしているなどがわかればいいと思う。（生徒国際交流事業）</p>	<p>①生徒国際交流事業について、引き続き継続するように予算要求は行っていく。</p> <p>追跡調査については、平成27年度に追跡アンケートとってから行っていない状況であるため、実施について検討したい。</p> <p>【担当：教育総務課】</p>
(3) 健やかな体の育成	評価結果<概ね順調>
<p>③「市内産食材を積極的に使用して地産地消を推進する」とあるが、食育計画には概ね30%ぐらいの率で地産地消を進めるようになってきていると思うが、地産地消について努力していただきたい。（せいよ西学校給食センター運営事業・三瓶学校給食センター運営事業）</p>	<p>③食の多様化と地域食品産業の関係で限界はあるが、関係機関との連携による地場産物の掘り起こしと積極的な使用に努め、地産地消の推進を図るとともに、地場産物を活用した食育活動も展開していく。</p> <p>【担当：学校教育課】</p>
2 ライフステージに応じた社会教育の推進	
(5) 図書館活動の推進	評価結果<概ね順調>
<p>④図書館の指定管理の検討はあるのか。</p> <p>また、宇和と野村に素晴らしい図書館を作ったが、旧5町の図書館も足並みを揃えて、差がないように事業を進めていただければと思う。（図書館活動の推進（施策））</p>	<p>④県内では、2カ所程度指定管理があるが、当市も研究の必要はあると受け止めている。九州の方では民間企業に指定管理をされているところもあるが、指定管理となる際にはいろいろな問題もあったとも聞いている。今治市のように図書館に精通した機関が指定管理として委託できるのであれば、事業が進みやすいと思う。人員や雇用のことを含めて色々と検討していきたい。</p> <p>市民の図書館利用の条件の地域格差は、是正に努めねばならないが、図書館施設の周辺に一定の人口が固まる宇和、野村、三瓶地域に比べ、城川、明</p>

	<p>浜地域は地域内のどこに「図書館」を設置しても利用者は車による移動が必須となる。このような地理的な条件や人口比、利用率などを踏まえてどのような展開が適切か検討していく。</p> <p>【担当：生涯学習課】</p>
3 人生を豊かにする文化芸術の振興	
(1) 文化財の保護と活用	評価結果<順調>
<p>①文化財というと地味なところもあり、一般市民の方が文化財に興味を持つことが難しいと思う。少しでも文化財に興味関心を持ってもらうような取り組みをしていかないと、みんなで文化財を守っていこうという意識が高まってこない。</p> <p>西予市には多くの文化財があるが、案内が古く分かりにくい場所も多くなっていると思う。少しずつでも構わないので文化財の表示看板の更新や、いろいろな機会で開催・PR活動を行ってほしい。</p> <p>また、四国西予ジオパークとの関連性において、ジオサイトと文化財がリンクしているところはいいが、それ以外で単独の文化財になっているところへの対応も必要ではと思う。</p> <p>(文化財保護推進事業)</p>	<p>①文化財の滅失・散逸の危機を防ぐことを目的に、平成30年に文化財保護法が改正され、市町村が「文化財保存活用地域計画」を作成し、国がこれを認定することが制度化された。</p> <p>西予市でも、国の認定へ向け3カ年で「文化財保存活用地域計画」を作成することとし、令和2年度から着手し、計画的・継続的に文化財の保護活用を図っていく。</p> <p>また、広報・HPの活用や歴史講演会の開催により、市民に文化財に興味をもっていただくよう継続的に取り組んでいく。</p> <p>【担当：スポーツ・文化課】</p>
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	
(1) スポーツの普及・推進	評価結果<概ね順調>
<p>①スポーツクラブは、市内で3つの組織だけとなっているのか。</p> <p>(総合型スポーツクラブ補助事業)</p>	<p>①当初は旧5町での設立を目指していたが、人口の少ない明浜、城川地域ではスポーツ協会やスポーツ推進委員協議会との構成員が重なってしまうことや、市のスポーツ推進に係る新たな組織体制を作る必要性が問われた経緯もあり、現在、市内のスポーツクラブは3つとなっている。スポーツクラブがない地域では、近隣のスポーツクラブの活動に参加しているケースもある。</p> <p>のむらスポーツクラブは、会員数が約350人おり、活発に活動していただいている。平成28年度から令和元年度まで、健康づくり対策支援事業を市から委託し、高齢者を対象に健康教室が実施された。令和2年度からは、児童・生徒の運動機会の充実を図ることを目的に、「ジュニアスポーツ活動サポート事業」を市から委託している。</p> <p>【担当：スポーツ・文化課】</p>

II 西予市教育振興基本計画（令和2年6月一部改訂）について

1 基本理念

『ふるさとの未来へつなぐ人づくり』

本市の特性を生かし、西予市を誇りに感じ、「ふるさとの未来」を思い、次代を担う「人づくり」を推進します。

2 基本目標

「夢を育み 未来へつなぐ 西予っこ」

「生きる力」の育成を基盤とした学校教育を推進するとともに、学校や家庭、地域が連携・協力し、市の特性を生かした特色ある学校づくりを進めます。また、ふるさとを愛する心を育て、夢多き未来につながる教育に努めます。

「ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと」

市民が生涯現役として、ふるさと西予の歴史・文化やスポーツに親しみ、積極的にまちづくりへ参画できるように、生涯学習の場を充実させて活躍できる場の提供に努めます。

3 重点目標

「生きる力」を育む学校教育の推進

学校・家庭・地域の連携・協力により、児童・生徒に、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けさせ、社会の一員としてたくましく生きていく力を育成します。

ライフステージに応じた社会教育の推進

少子化・高齢化・核家族化が一般化している現代において、家庭・地域・行政が役割を明確にし、市民一人ひとりが自発的に学習し学んだ成果を社会に還元できる社会（地域）づくりの向上を目指します。

人生を豊かにする文化芸術の振興

市民共有の貴重な財産である歴史、文化、文化財などについて、調査・研究のうえ保護、活用し、市民が文化財に親しむ機会を創出します。また、市民の芸術文化活動を支援し、鑑賞の機会を提供します。

健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

子どもから高齢者まで、年齢、性別、健常者・障がい者の区別なく、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、楽しめるような生涯スポーツ社会の実現を目指します。

4 施策の体系

○基本目標：夢を育み 未来へつなぐ 西予っこ

重点目標	施策	事務事業等
1 「生きる力」を育む 学校教育の推進	(1) 確かな学力の育成	①学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実 ②学校・家庭・地域との連携 ③ICTの活用と情報教育の推進
	(2) 豊かな心の育成	①道徳の時間の充実 ②互いの関わりを大切にされた集団活動の充実 ③いじめ根絶に向けた取組の充実 ④情報モラル教育の充実 ⑤家庭や地域と連携した活動の充実
	(3) 健やかな体の育成	①体力の維持・向上 ②基本的な生活習慣の定着 ③学校給食の充実
	(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	①特色ある学校づくりの推進
	(5) 特別支援教育の推進	①個に応じた学習支援の充実 ②生活支援員の配置
	(6) 人権・同和教育の推進	①人権・同和教育の充実 ②いじめや不登校への対応
	(7) 安全・安心な学校づくりの推進	①防災教育の推進 ②学校や地域での安全確保の推進
	(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	①市所属部会、市教育研究大会の充実 ②授業力の向上 ③学校組織の活性化
	(9) よりよい教育環境づくりの実現	①小学校の再編推進 ②放課後の子育て支援 ③校舎の改築及びICT設備の整備等 ④小中連携教育の推進 ⑤コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進

○基本目標：ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと

重点目標	施策	事務事業等
2 ライフステージに応じた 社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	①生涯を通じた多様な学習機会の提供
	(2) 公民館活動の推進	①地域と連携した公民館活動の充実 ②社会教育関係団体への支援と連携 ③西予市結婚推進委員会の取組
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	①青少年健全育成体制の強化 ②家庭、地域の教育力の向上 ③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進
	(4) 人権・同和教育の推進	①学習機会の拡充と啓発活動の充実 ②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成 ③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実
	(5) 図書館活動の推進	①読書活動の普及啓発 ②図書館サービスの充実
3 人生を豊かにする文化 芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	①文化財・文化遺産の保護と活用 ②文化財の継承と次世代を担う人材の育成
	(2) 文化の振興	①文化の継承と次世代を担う人材の育成 ②文化芸術、生活文化の振興
	(3) 文化活動の環境と基盤の整備	①文化施設の整備・充実
	(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	①古代ロマンの里構想の推進 ②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進 ③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進 ④文化的景観保護推進事業の推進
4 健やかな心と体をつくる 生涯スポーツの振興	(1) スポーツの普及・推進	①生涯スポーツの普及と活動支援 ②スポーツ施設の整備・充実
	(2) 施設の有効活用とトップアスリート等との交流推進	①競技スポーツの振興 ②関係施設の整備・充実

Ⅲ 西予市教育委員会の点検・評価について

1 点検・評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育委員会が教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄） （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等） 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。
--

2 点検・評価の対象、実施期間

(1) 点検・評価の対象

- ・令和2年度における教育委員会の活動状況
- ・令和2年度における教育委員会の取組施策

(2) 点検・評価の実施期間

令和3年7月～令和4年2月

3 点検・評価の方法

(1) 自己点検・評価

教育委員会主管課が西予市教育振興基本計画に基づく取組を自己点検・評価します。

(2) 学識経験者の意見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会が行った点検・評価結果について、選任する学識経験者3名から評価会議で意見を伺います。

氏名	団体・役職名
中橋 治彦	元公立学校長
岡上 昌造	元市役所職員
大塚 晶司	元社会教育委員長

4 自己点検・評価の構成

(1) 施策の評価（A表）

「施策の体系」の表に示した20の施策毎に施策を構成する事務事業等の実績及び成果等を分析し、取組の成果（進行状況）を次の表1の区分により総合的に評価します。

(表 1)

順調	調：施策の成果が十分にあり、進行状況が順調であると判断されるもの
概ね順調	調：施策の成果がある程度あり、進行状況が概ね順調であると判断されるもの
やや遅れている	調：施策の成果があまりなく、進行状況がやや遅れていると判断されるもの
遅れている	調：施策に成果がなく、進行状況が遅れていると判断されるもの

※担当課が2課以上ある場合の評価

評価及び評価に対する分析について協議し、評価を一本化しています。

(2) 主な取組事業の点検・評価 (B表)

施策を構成している主な取組事業の内容、実績、評価と今後の課題・対応方向等について分析しています。

(記入項目)

事務事業等	課題解決に設定した具体的な方策。※別紙施策の体系を参照
成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組の推進が効果的となるよう設定した指標
取組事業	取組を推進するための事業名
事業内容	取組む事業の内容
実績	実施した事業の実績等
評価と今後の課題・対応方向	実施した事業の評価と今後の事業を進める上での課題と、その改善点や対応の方向
決算額 (千円)	令和2年度の決算額 (事業の総額) ※千円単位に四捨五入

(3) 成果指標の評価・分析 (C表)

成果指標の評価は、20の施策の中で設定した10の成果指標の達成状況を下記表2の区分により評価し分析しています。

(表 2)

A：達成済
B：概ね達成
C：未達成
D：不明

(記入項目)

成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組が効果的となるよう設定した指標名
達成状況	表2の中から、成果指標の達成状況の評価項目を選択
分析・評価	令和2年度の成果指標値について、基準値との比較や社会情勢等を考慮した分析・評価
基準値	西予市教育振興基本計画において、基準とした平成30年度の値
目標値	西予市教育振興基本計画において、目標とする令和5年度の値
実績値	西予市教育振興基本計画における令和2年度時点の値
増減	設定した指標の実績値と基準値の差

IV 点検・評価結果

IV-1 教育委員会の活動状況

1 教育長及び委員任命状況

(令和2年6月10日現在)

職	氏名	性別	職業	任期	通算在任年数	役職任期	常勤・非常勤の別
教育長	松川 伸二	男	公務員	R元.6.10 R4.6.9	2		常勤
職務教育長代理者	平岡 長治	男	無職	H29.6.10 R3.6.9	7	R2.6.10 ～ R3.6.9	非常勤
委員	古谷 和彦	男	無職	H30.6.10 R4.6.9	3		非常勤
委員	酒井 郁子	女	無職	R元.6.10 R5.6.9	2		非常勤
委員	梅川 俊一	男	会社役員	R2.6.10 R6.6.9	1		非常勤

※教育長の任期は3年間

※教育委員の任期は4年間

※教育長職務代理者の任期は1年

2 会議開催状況

①会議開催数・付議案件数

定例会	12回
臨時会	1回
案件	12件

②会議に付された案件（定例会・臨時会）

月日	案件名
5月26日 定例会	西予市教科用図書選定委員会委員の委嘱及び任命について
6月23日 定例会	西予市公立学校管理規則の一部を改正する規則制定について 西予市教育振興基本計画について
7月28日 定例会	西予市公民館長の任命について 令和3年度使用中学校教科用図書の採択について
1月26日 定例会	西予市スクールバス運行及び利用に関する規則の一部を改正する規則制定について 西予市図書交流館条例施行規則の一部を改正する規則制定について 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について
2月22日 定例会	西予市教職員宿舎条例施行規則の一部を改正する規則制定について
3月23日 定例会	西予市公民館長の任命について 西予市公民館分館長の任命について 西予市公民館分館主事の任命について

③教育委員会議の公開

西予市教育委員会傍聴規則の規定に基づき、会議は教育長の許可を得て傍聴できます。

・令和2年度 傍聴人 1人

3 委員会議以外の活動状況

教育長及び教育委員は、教育委員会議への出席以外に、市議会、学校訪問の他、各種行事等へ出席しました。（詳細は、4 主な活動実績一覧を参照）

- ① 議会関係・・・・・・・・定例会（4回）、臨時会（1回）
- ② 学校訪問・・・・・・・・小学校（12校）、中学校（5校）
- ③ 各種行事・大会・・・・・・・・ 27回

4 主な活動実績一覧

月	教育委員会関係	市議会関係	各種行事・大会	学校訪問
4	定例会 (1)		・市新任式 ・市校長会研修会	
5	定例会 (1)	臨時会 (1)		
6	定例会 (1)	定例会 (1)	・市教科用図書選定委員会 ・地域づくり活動センター市民検討委員会	三瓶小 皆田小 三瓶中 明浜小 明浜中 宇和町小 石城小 野村小 城川中 惣川小 大野ヶ原小 宇和中 田之筋小 野村中 城川小 多田小 中川小
7	定例会 (1)		・市社会教育委員会 ・市教科用図書選定委員会	
8	定例会 (1)		・市校長会 ・小学生夢チャレンジサポート事業選定等審査会 ・市教頭会研修会	
9	定例会 (1)	定例会 (1)	・地域づくり活動センター市民検討委員会	
10	定例会 (1)		・南予管内社会教育行政担当者研修会 ・市中学校新人体育大会 ・市小学校陸上記録会 ・南予地域人権同和教育研究協議会	
11	定例会 (1)		・南予教育を考える集い ・野村保育所・ひがし学校給食センター合同落成式 ・南予管内市町等教育委員会連合会職員研修会 ・愛媛FCマッチシテイ ・第1回市総合教育会議	
12	定例会 (1)	定例会 (1)	・地域づくり活動センター市民検討委員会	

1	定例会 (1)		・市仕事始め式 ・南予管内市町等教育委員会連合会正副会長会	
2	定例会 (1)		・市校長会研修会	
3	臨時会 (1) 定例会 (1)	定例会 (1)	・市内県立学校卒業式 ・地域づくり活動センター市民検討委員会 ・小学生夢チャレンジサポート事業検証会 ・市退任式	
合計	臨時会 (1) 定例会 (12)	臨時会 (1) 定例会 (4)	27回	小学校(12) 中学校(5)

IV-2 施策別の点検・評価結果

1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧

重点目標	施策	評価	事務事業等	成果指標	達成状況
1 「生きる力」を育む学校教育の推進	(1) 確かな学力の育成	概ね順調	①学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実		
			②学校・家庭・地域との連携		
			③ICTの活用と情報教育の推進		
	(2) 豊かな心の育成	概ね順調	①道徳時間の充実		
			②互いの関わりを大切に集団活動の充実		
			③いじめ根絶に向けた取組の充実		
			④情報モラル教育の充実		
			⑤家庭や地域と連携した活動の充実		
	(3) 健やかな体の育成	概ね順調	①体力の維持・向上		
			②基本的な生活習慣の定着		
	(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	概ね順調	③学校給食の充実		
			①特色ある学校づくりの推進		
(5) 特別支援教育の推進	順調	②個に応じた学習支援の充実			
		③生活支援員の配置			
(6) 人権・同和教育の推進	概ね順調	①人権・同和教育の充実			
		②いじめや不登校への対応			
(7) 安全・安心な学校づくりの推進	順調	①防災教育の推進			
		②学校や地域での安全確保の推進			
(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	概ね順調	③市所属部会、市教育研究大会の充実			
		④授業力の充実			
		⑤学校組織の活性化			
(9) よりよい教育環境づくりの実現	概ね順調	①小学校の再編推進			
		②放課後の子育て支援			
		③校舎の改築及びICT設備の整備等			
		④小中連携教育の推進			
		⑤コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進			
2 ライフステージに応じた社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	概ね順調	①生涯を通じた多様な学習機会の提供		
	(2) 公民館活動の推進	概ね順調	①地域と連携した公民館活動の充実	・公民館運営審議会開催回数（平均）	C
			②社会教育関係団体への支援と連携		
			③西予市結婚推進委員会の取組		
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	やや遅れている	①青少年健全育成体制の強化	・街頭補導回数	D
			②家庭、地域の教育力の向上	・移動補導センター回数	D
③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進					
(4) 人権・同和教育の推進	概ね順調	①学習機会の拡充と啓発活動の充実			
		②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成			
		③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実			
(5) 図書館活動の推進	概ね順調	①読書活動の普及啓発	・利用者数（図書を借りた人数）	B	
		②図書館サービスの充実	・利用者数（図書を借りた人数）	B	
3 人生を豊かにする文化芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	順調	①文化財・文化遺産の保護と活用	・保護されている指定文化財の割合	A
			②文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
	(2) 文化の振興	やや遅れている	①文化の継承と次世代を担う人材の育成		
			②文化芸術、生活文化の振興	・文化祭等参加団体数及び文化会館利用者数	C
(3) 文化活動の環境と基盤の整備	概ね順調	①文化施設の整備・充実	・各施設の入館者数	C	
		(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	概ね順調	①古代ローマの里構想の推進	
②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進					
③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進					
(4) 文化的景観保護推進事業の推進	概ね順調	④文化的景観保護推進事業の推進			
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	(1) スポーツの普及・推進	概ね順調	①生涯スポーツの普及と活動支援		
			②スポーツ施設の整備・充実	・社会体育施設年間利用者数	C
(2) 施設の有効活用とトップアスリート等との交流推進	やや遅れている	①競技スポーツの振興	・全国大会出場件数	C	
		②関係施設の整備・充実			

2 施策及び主な取組事業の点検・評価結果

重点目標 1 「生きる力」を育む学校教育の推進

(A表)

施策	(1) 確かな学力の育成
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>学力向上推進計画に基づいて平成29年度から実施している事業（学び舎事業、学校裁量チャレンジ支援）も認知度が高まり、利用者が年々増え、主体的に学習に取り組む児童生徒の育成に効果を見出すことが出来ている。</p> <p>令和2年度から小学校外国語の教科化が始まったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により新規ALTの確保が困難であった。今後、招致を推進し、英語教育の充実に向けて準備を進めたい。また、各種事業の目的に照らし、国際理解教育の推進やグローバルな視野を養う視点での改善、充実が必要である。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額（千円）	527
取組事業	小学生夢チャレンジサポート事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 市内の小学6年生の学級又は学校（小規模校）に対して夢を募集して、応募された「夢」から実現する夢を選定し、必要に応じて団体等がサポートして児童たちの夢を実現する。</p> <p>【実績】 募集対象学校・学級数：12校、16学級 応募学校・学級数、件数：5校、5件 実現した夢：1事業（野村小学校：届け！！「のむらからの手紙」） 夢の内容：野村小学校6年生の児童が作った「のむらからの手紙」を作曲に関わった歌手INSPiとオンラインで一緒に歌い、記念のDVDを作成。令和3年の夏、復興コンサートにて、同じステージで一緒に歌う。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 児童が持つ夢を叶えるために、自ら考え実行する力を身につけることができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、児童が考えた夢の計画の変更を余儀なくされたこともあったが、柔軟に対応し、夢の実現に至った。また、自分たちの夢の実現に多くの人に関わってくれたことに感謝の気持ちを持ち、たくさんの学びがあったと感じていた。 応募数については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、昨年の半数となった。次年度の募集では、選定方法や募集の仕方を見直し、より多く子どもたちが夢実現への行動力を身につけられるよう工夫する。</p>		



オンライン授業で一緒に歌づくり



完成した「のむらからの手紙」のDVD収録

(B表)

事務事業等	① 学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	20,994
取組事業	語学指導外国青年招致事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 JETプログラム指導者5名と委託外国人指導者1名が、小・中学校において、外国語活動や英語授業の補助的指導者となって英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進を図る。</p> <p>【実績】 新型コロナウイルス感染症の影響により、新規のALTの来日が遅れ、合計4名体制が3月末まで続いた。9月以降は、中学校には概ね週2日、小学校には週1～2日程度の勤務体制をとった。各学校長による勤務状況評価によると、4名ともに勤務状況、指導の状況、勤務態度の全てで良好であった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 外国語でのやりとりを通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力等を育成するためには、ALTは貴重な役割を果たしている。しかし、新規ALTの来日に遅れにより、令和2年度から始まった小学校学習指導要領全面実施による小学校3・4年生での外国語活動、5・6年生での英語科の導入において、十分な体制がとれなかった。今後、新規ALTの招致を推進し、円滑な授業の実践に向けて、対応する必要がある。</p>		

(B表)

事務事業等	① 学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	1,717
取組事業	地域子ども学び場事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学力向上に向けた取組みの一環として、市内の児童の希望者に対して学習支援を行う環境を整備する。名称を「学び舎」とし、教員OBを中心とした地域指導者を活用して、毎週土曜日の午前中を基本として学習会を実施する。</p> <p>【実績】 令和2年度は5会場で計137回(令和元年度161回)開講し、延べ1,540人(令和元年度1,428人)の児童が参加した。※新型コロナウイルス感染症の影響で8月末まで休講。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 「学び舎」の認知度が高まり、年々参加児童が増加している。地域指導者による個に応じた学習支援は、望ましい学習習慣や主体的に学ぶ態度の育成につながると考える。令和2年度は、宇和下地区も開講にこぎつけることができた。児童の参加数が増加するにしたがって、必要となる地域の指導者の確保が難しいことが大きな課題である。</p>		

(B表)

事務事業等	③ ICTの活用と情報教育の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	132,997
取組事業	小学校情報教育振興事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 GIGAスクール構想に基づき、小学校の情報教育環境を整備するとともに、教育用コンピュータ及び教育情報ネットワークの更新、維持管理を行う。 併せて、ICT機器の研修を行い、教職員のICT活用能力を底上げすることにより、教育の質の向上を図る。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末(ノートPC)1,565台整備 ・モバイルルータ235台整備 ・ネットワーク整備等 <p>【評価・今後の課題・対応方向】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、GIGAスクール構想が前倒しとなり、ネットワーク整備及び1人1台の端末整備を実施した。タブレット端末等のICT機器導入から5年目を迎え、教職員がICT活用能力を習得し、実物投影機やプロジェクターなど、ICTを活用した授業が定着してきた。今後は端末を有効に活用することで、さらなる教育の質の向上を図る。</p>		

(B表)

事務事業等	③ ICTの活用と情報教育の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	73,498
取組事業	中学校情報教育振興事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 GIGAスクール構想に基づき、中学校の情報教育環境を整備するとともに、教育用コンピュータ及び教育情報ネットワークの更新、維持管理を行う。 併せて、ICT機器の研修を行い、教職員のICT活用能力を底上げすることにより、教育の質の向上を図る。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末(ノートPC)864台整備 ・モバイルルータ115台整備 ・ネットワーク整備等 <p>【評価・今後の課題・対応方向】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、GIGAスクール構想が前倒しとなり、ネットワーク整備及び1人1台の端末整備を実施した。タブレット端末等のICT機器導入から5年目を迎え、教職員がICT活用能力を習得し、実物投影機やプロジェクターなど、ICTを活用した授業が定着してきた。今後は端末を有効に活用することで、さらなる教育の質の向上を図る。</p>		

(A表)

施策	(3) 健やかな体の育成
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>健やかな体の育成においては、家庭との連携が重要な要素であり、学校と家庭が相互に連携を深め、基本的な生活習慣の定着にも努めている。また、食事についても、地域食材を活用した安全・安心な学校給食の提供に努め、食育の推進を図っている。</p> <p>令和2年度においては、せいよ東学校給食センターを建設し、令和3年1月から野村・城川地区の小中学校等へ給食の提供を開始した。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	③ 学校給食の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	79,297
取組事業	せいよ西学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うとともに、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p>【実績】 学校給食衛生管理基準に基づき衛生管理を徹底し、安全・安心な給食の提供ができた。児童・生徒の希望をとり入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週4回、パン1回の献立を実施した。また、年間を通して市内産食材を積極的に使用して地産地消を推進するとともに、学校と連携した給食センターの社会見学や給食試食会の実施により食育事業を推進することができた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 学校給食衛生管理基準を踏まえ整備した調理施設で適切な衛生管理に努め、安全・安心な学校給食の調理及び提供を行い、児童・生徒の健康増進、体力の向上を図ることができた。今後も、関係機関との連携による地場産物の掘り起しと積極的な使用に努め、地産地消の推進を図るとともに、地場産物を活用した食育活動を継続して展開していきたい。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 学校給食の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	29,709
取組事業	三瓶学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うと共に、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p>【実績】 三瓶学校給食センターの管理運営を円滑に行い、安全・安心な給食の提供ができた。子どもたちの希望をとり入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週4回、パン1回の献立を実施し、地産地消にも配慮したおいしい給食提供ができた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 児童・生徒の健康増進、体力の向上及び給食を通しての食育の推進を行うことができた。児童・生徒の健康面では、体格的にはほぼ全国平均で、健康診断でも特に問題はなく、今後も継続した予防教育や食育推進、体力づくりの推進が必要である。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 学校給食の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	13,907
取組事業	せいよ東学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うとともに、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p>【実績】 平成30年度に完成間近で被災した「せいよ東学校給食センター」が完成し、令和3年1月から供用開始となった。学校給食衛生管理基準に基づき、より衛生管理を徹底した、安全・安心なおいしい給食約770食を、野村小中学校、城川小中学校の児童・生徒に提供することができた。市内事業所の地元産食材を積極的に使用し、地産地消、地元の経済循環にも貢献している。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 学校給食衛生管理基準を踏まえ整備した調理施設で適切な衛生管理に努め、安全・安心な学校給食の調理及び提供を行い、児童・生徒の健康増進、体力の向上を図ることができた。今後も、関係機関との連携による地場産物の掘り起しと積極的な使用に努め、地産地消の推進を図るとともに、地場産物を活用した食育活動を継続して展開していきたい。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 学校給食の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	519,773
取組事業	せいよ東学校給食センター建設事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 せいよ東学校給食センター建設工事 平成30年7月豪雨災害で被災した建設中の施設の解体工事 厨房設備機器運搬設置 給食配膳室改修工事 外構等付帯工事 調理用器具等購入</p> <p>【実績】 せいよ東学校給食センター建設 令和2年11月6日完成 (鉄骨造2階建 延床面積1,939.07㎡ 調理能力 最大2,000食) 被災施設の解体 令和3年1月29日完成</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 当初は令和2年9月の供用開始を目指していたが、地中から湧水が発生したことにより作業効率の低下や安全性を考慮した追加工事などが生じたことから建設工事に遅れが生じ、令和3年1月供用開始となった。</p>		



完成したせいよ東学校給食センター

(A表)

施策	(5) 特別支援教育の推進
評価	順調
評価に対する分析	<p>発達障がい等のある児童・生徒一人ひとりが、より豊かな学校生活を過ごせるよう、学習環境の整備と就学支援の充実に向け、関係機関で連携を深めながら対応の充実を図っている。</p> <p>また、市内の小・中学校で必要と認める児童・生徒には、生活支援員を配置し、充実した学校生活を送れるよう個に応じた適切な支援の提供に努めている。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	74,420
取組事業	小学校生活支援員設置事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 発達障がい等のある児童に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。</p> <p>【実績】 小学校9校に34人の生活支援員を配置した。支援を行った児童数は合計49人であった。児童の学校生活の支援や、授業中のノートテイク等の補助、特別支援学級の児童が交流学級で授業を受ける際の支援を、必要に応じてきめ細やかに行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 生活支援員が関わることで、困り感のある児童の情緒安定につながっている。また、生活支援員の声かけが、級友の対象児童理解によい影響を与えている。適切な支援の結果、生活支援員なしで学校生活を送れるようになった児童もいる。児童のニーズが多様化する中、保護者からの配置希望は年々増加しており、生活支援員の増員を求める声大きい。</p>		

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	13,363
取組事業	中学校生活支援員設置事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 発達障がい等のある生徒に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。</p> <p>【実績】 中学校3校に6人の生活支援員を配置した。支援した生徒は合計8人であった。生徒の学校生活の支援や、授業中のノートテイク等の補助、特別支援学級の児童が交流学級で授業を受ける際の支援を、必要に応じてきめ細やかに行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 生活支援員の関わりにより、情緒の安定が図れ、スムーズに学校生活を送ることができている。生活支援員の声かけによって、級友の対象生徒理解にもつながっている。支援に関するニーズが多様化する中、保護者の配置希望に対応できるよう取り組んでいきたい。</p>		

(A表)

施策	(7) 安全・安心な学校づくりの推進
評価	順調
評価に対する分析	<p>自分の命を守るために、正しく判断して行動できる子どもたちの育成に向け、防災学習の充実に学校と連携しながら取り組んでいる。関係機関との連携を深め、地域ぐるみの学校安全対策を充実させることが重要である。</p> <p>メール配信サービスは、各校を通じて広く周知され保護者の多くが利用している。不審者事案の即時情報発信のほか、台風等自然災害時における休業等の情報提供など、学校や地域の安全確保に広く貢献している。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 学校や地域での安全確保の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	264
取組事業	不審者情報 メール配信 事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 西予市内で発生する不審者事案、自然災害対応等、メールでの情報提供を希望する保護者等に対して情報発信を行う。</p> <p>【実績】 ・不審者情報 2件 ・自然災害対応・学校行事の変更及び園児・児童・生徒の状況(修学旅行等)等のメール配信 1,340件</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 不審者からの安全の確保、自然災害等への対応のためには、即時の情報発信が不可欠であり、今後も継続していく必要がある。</p>		

(A表)

施策	(9) よりよい教育環境づくりの実現
評価	概ね順調
評価に 対する 分析	<p>現代社会において、子どもたちを取り巻く環境が変化する中で、10校においてコミュニティ・スクールを導入し、学校や子どもが抱える課題を解決するとともに、学校と地域が連携・協働し、地域とともにある学校づくりを進めていくことができた。</p> <p>また、学校再編に伴う遠距離通学的手段として整備した、スクールバスも順調に運行し、通学に係る教育環境づくりを実施することができている。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 小学校の再編推進		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	101,058
取組事業	スクールバス維持管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>学校再編に伴い遠距離通学となった児童生徒の登下校時の安全を確保するためにスクールバスを運行する。また、登下校以外の空き時間を利用して、校外学習の送迎など臨時で運行する。</p> <p>市所有スクールバス22台、民間車両1台の全23台 ○明浜小：2台 ○明浜中：1台 ○野村小：7台 ○野村中：1台 ○城川小：4台 ○城川中：3台 ○三瓶小：2台 ○三瓶中：2台 ○皆田小：1台</p> <p>【実績】</p> <p>令和2年度について、当初は新型コロナウイルス感染症拡大防止により、学校が臨時休業となったため運行を行わない時期もあった。しかし、その後は遠距離通学となる児童・生徒の通学手段としてスクールバスの運行を順調に行った。また、より良い教育環境の整備を目的に校外学習や各種教育活動・学体各種大会等の移動手段としてスクールバスの臨時運行も行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>学校再編から一定期間が経ち、スクールバスの運行においても定着してきたため、年間を通して適切な運行を行うことができている。しかし、再編当初に比べると児童生徒が減少していることもあり、バス車両の大きさや運行路線等について、徐々に見直しが必要な時期も来ている。小中の混乗においても検討する必要があるが、下校時刻の調整など課題が多い。</p> <p>また、車両についても経年劣化が見られ修理の回数や箇所が増えてきているため、適切な維持管理に努めていかなければならない。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 校舎の改築及びICT設備の整備等		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	61,456
取組事業	小学校施設整備事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 市内小学校施設の中で、老朽化の進んだ施設を改修し、安全・安心な教育環境を整備する。</p> <p>【実績】 宇和町小学校屋内運動場(外部)の改修工事を実施した。 (外壁改修・屋根改修・防水改修・建具改修工事)</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 予定どおり工事は完了し、教育環境が整備できた。 今後の課題としては、老朽化している施設も多数存在するため、長寿命化も視野に入れ、計画的に整備・改修を行う。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 校舎の改築及びICT設備の整備等		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	50,323
取組事業	中学校施設整備事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 生徒の安全で快適な学習環境を整備するとともに、災害時の避難所として必要な機能が発揮できるよう防災機能の強化を図る。</p> <p>【実績】 宇和中学校、城川中学校、明浜中学校、三瓶中学校の屋内運動場について非構造部材(照明器具等)の耐震化工事を実施した。 (4校共通)照明器具の軽量化および落下防止対策工事 (明浜中学校)校歌額等落下防止対策工事 (三瓶中学校)カーテンボックスおよび外壁落下防止対策工事</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 予定どおり工事は完了し、教育環境が整備できた。 今後の課題としては、老朽化している施設も多数存在するため、長寿命化も視野に入れ、計画的に整備・改修を行う。</p>		

(B表)

事務事業等	⑤ コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	301
取組事業	コミュニティ・スクール推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 市内全ての小・中学校に、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入することにより、学校や子どもが抱える課題を解決するとともに、地域を担う人材育成のために学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子供の成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進めるものである。</p> <p>【実績】 導入学校数：10校（多田小学校、田之筋小学校、中川小学校、石城小学校、皆田小学校、野村小学校、惣川小学校、城川小学校、野村中学校、城川中学校）</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 当初の計画どおり、小学校8校、中学校2校において学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを導入した。これにより、これまで以上に、学校と地域が連携・協働し、学校運営に関する協議を行ったり、学校教育における地域との連携活動を進めることができた。 今後は、より充実した学校運営を進めるとともに、全ての学校への導入を図っていくものである。</p>		

重点目標 2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(A表)

施 策	(1) 生涯学習の推進
評 価	概ね順調
評 価 に 対 する 分 析	<p>生涯学習社会の構築と魅力ある地域づくり・人づくりの実現に向け、社会教育委員会等で生涯学習事業についての協議・意見交換を行い、ライフステージに応じて主体的に学習できる場や機会の拡充に努めた。</p> <p>令和5年度からスタートする地域づくり活動センター化を見据え、移行後の地域における生涯学習の場の確保と充実に力を入れたい。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標	設定なし		
担 当 課	生涯学習課	決算額 (千円)	1,418
取 組 事 業	家庭教育支援事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 家庭教育の向上及び、妊娠期・乳幼児期を含む子育てに悩む全ての保護者の支援を進めるため、①定期・予約・出張相談、②情報の提供活動、③学習機会の提供、④イベントの実施の4つの活動を中心とした事業展開を行う。</p> <p>【実績】 ①定期・予約・出張相談：12件（令和2年度） ②情報提供活動：子育て応援情報紙（わくわくステーション）3,600部を発行し、市内保・幼・小・中・児童館・図書館等に配布 ③学習会の開催：発達障害・性教育についての講演会・出前講座 ④イベント：今年度からはプレママ・ママカフェを開始し4回実施。山遊び・トランポリン・親子でクッキングも予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 令和2年度から開始したプレママ・ママカフェでは、29組の参加があり、「新型コロナウイルス感染症の状況下で、人と会話ができる場所はとても大切だと改めて思った」等の感想があった。また出前講座では、保護者同士が学び合うことで交流ができ、悩みの解消につなげることができた。新型コロナウイルス感染症の影響で、気軽に会うことができないため、今後どのように支援していくかが課題であり、また、相談しやすい環境づくりや学校等への出張相談も含め、包括的な支援を目指す。</p>		

(A表)

施策	(2) 公民館活動の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	中央公民館及び24の地区公民館で、地域性や住民ニーズに即した事業を実施している。地域に根ざした活動を通して、住民の教養の向上や健康の増進、生活文化の振興等を図り、まちづくりを支える地域人材の育成に寄与している。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実																		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）																		
担当課	明浜教育課	決算額（千円）	605																
取組事業	明浜教育課・各地区公民館生涯学習事業																		
事業内容 実績課題・今後の方向性	<p>【事業内容】 公民館を生涯学習の拠点として、各種団体や関係機関と連携を深めながら、人づくりと心ふれあう元気な地域づくりを進める。</p> <p>【実績】 明浜教育課及び明浜町内4公民館において、地域の特色を生かした各種講座やイベントを開催。地域や学校と連携した生涯学習活動を幅広く展開した。</p> <p>○主な事業</p> <table border="0"> <tr> <td>青少年教育</td> <td>SummerCampアケハマン、俳句大会学生の部</td> </tr> <tr> <td>成人教育</td> <td>山あるきんぐ教室、ブックコートフィルム講習</td> </tr> <tr> <td>婦人教育</td> <td>手芸教室（粘土細工、苔玉、アマビエ作り）</td> </tr> <tr> <td>家庭教育</td> <td>ふれあい広場（クリスマスリース作り）</td> </tr> <tr> <td>文化教育</td> <td>産業文化祭（俵津のみ開催）、俳句大会一般の部</td> </tr> <tr> <td>社会体育</td> <td>元旦走ろう会、ミニ駅伝大会、バレーボール教室</td> </tr> <tr> <td>総合教育</td> <td>門松づくり、しめ縄作り、パソコン教室</td> </tr> <tr> <td>高齢者教育</td> <td>クロッケー教室、スマホ教室</td> </tr> </table> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 天候や新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、実施できなかった事業が多いなか、キャンプ事業では災害避難時用テントを使用し、感染防止策を講じるなどの工夫をして取り組んだ。 今後については、地域づくり活動センターへの移行を見据え、地域課題と既存事業の見直しを図る必要がある。</p>			青少年教育	SummerCampアケハマン、俳句大会学生の部	成人教育	山あるきんぐ教室、ブックコートフィルム講習	婦人教育	手芸教室（粘土細工、苔玉、アマビエ作り）	家庭教育	ふれあい広場（クリスマスリース作り）	文化教育	産業文化祭（俵津のみ開催）、俳句大会一般の部	社会体育	元旦走ろう会、ミニ駅伝大会、バレーボール教室	総合教育	門松づくり、しめ縄作り、パソコン教室	高齢者教育	クロッケー教室、スマホ教室
青少年教育	SummerCampアケハマン、俳句大会学生の部																		
成人教育	山あるきんぐ教室、ブックコートフィルム講習																		
婦人教育	手芸教室（粘土細工、苔玉、アマビエ作り）																		
家庭教育	ふれあい広場（クリスマスリース作り）																		
文化教育	産業文化祭（俵津のみ開催）、俳句大会一般の部																		
社会体育	元旦走ろう会、ミニ駅伝大会、バレーボール教室																		
総合教育	門松づくり、しめ縄作り、パソコン教室																		
高齢者教育	クロッケー教室、スマホ教室																		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	1,487
取組事業	中央公民館・各地区公民館生涯学習事業（宇和地区）		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>全市を対象とした中央公民館生涯学習事業のほか、宇和町内7公民館において実生活に即した学習の場や住民ニーズに応える生涯学習事業を展開する。</p> <p>【実績】</p> <p>各公民館で地域特性や課題を生かした活動を展開し、新たな学習を取り入れた学びの機会を提供しながら、住民のニーズに応える生涯学習活動を実施した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症によって、多くの事業で延期、規模縮小などの対応を取る必要が生じ、集客性の高いイベント型事業については、多くが中止を余儀なくされた。</p> <p>○主な事業</p> <p>青少年教育 環境教育、通学合宿、放課後子ども教室 野外体験活動（西予サマーアドベンチャー）</p> <p>成人教育 英会話、古典読書、各種趣味講座、ふる里学習会</p> <p>女性教育 ミセスキッチン（料理教室）、いきいき学級 レクバレー教室、各種趣味講座（絵手紙等）</p> <p>家庭教育 料理教室、つながり学級、子育てサロン</p> <p>高齢者教育 料理教室、健康教室、手芸教室、介護予防</p> <p>人権・同和教育 各地区人権の集い、指導者研修会、地区別学習会 草の根学習会</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>各公民館では、公民館職員の資質向上を図りながら、地域の代表である公民館運営審議員、各種団体と連携し、地域に必要な学習ニーズの把握に努めていく。学びへの参加のきっかけとなるよう、楽しさをベースとした学習活動、関心の高い学びの企画など参加者を呼び込む工夫が必要である。また多様な主体との連携や協働を推進し、熱意のある人材を巻き込みながら、人づくり・つながりづくり・地域づくりにつながる取組みを推進する必要がある。今後、事業については、新型コロナウイルス感染症への対策を検討した上で実施するほか、ICTを取り入れた取組の検討も必要である。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	野村教育課	決算額（千円）	672
取組事業	野村教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 全町を対象とした野村教育課生涯学習事業のほか、野村町内6公民館では地域住民の社会教育・生涯学習活動の拠点として地域コミュニティづくりを推進するとともに、関係機関・団体との連携を深め、地域の特色を生かした活力ある地域づくりに努める。また、それぞれの地区の今後を見据えた災害に強い地域活動を進める。</p> <p>【実績】 住民の教養の向上、健康の増進をはじめ、地域活性化を目的としたイベントや各種講座を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、盆踊り大会や防災ウォークラリー大会等は中止となったが、感染対策を徹底することで開催できた事業もあり、地域のつながり、連帯感の醸成を図ることができた。青少年教育では、各地区単位で通学合宿を開催し、自主性、協調性、自立性を養うことができた。 また、全地区館で公民館報を発刊し、地区内の話題提供と情報発信に努めた。</p> <p>○主な事業 家庭教育 料理教室、三世代交流事業 青少年教育 放課後こども教室、へらぶな塾、お別れスポーツ通学合宿(野村・溪筋・中筋・大和田・横林) 成人教育 健康教室、鳥獣被害防止対策研修会 女性教育 料理教室、ミニ門松づくり、ガーデニング教室 高齢者教育 クロッケー、グラウンドゴルフ、体操教室 人権教育 各地区人権学習会 社会体育 野村支部体育祭、乙亥大相撲 文化教育 土居家臯月お茶会、土居家観月会 総合教育 イルミネーション事業、さくら祭り、川まつり 大門松事業、農産品ブランド化事業</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 令和5年度からの地域づくり活動センターへの移行にあたり、持続可能な地域づくりに挑戦し、スクラップ&ビルドを繰り返しながら、事業を推進していきたい。併せて、新型コロナウイルス感染症への対応は必須であることから、今後の検討が必要である。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	城川教育課	決算額（千円）	204
取組事業	城川教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 市民を対象に公民館が住民ニーズに合わせた講座やイベント等を実施し、各地区の特色を生かした社会教育事業を展開する。幅広い世代の生きがいや健康づくりの場とすることと併せて、地域活性化への取組を進める。</p> <p>【実績】 町内4公民館において、地域の特色を生かした各種講座やイベントを開催し、各種団体、地域、学校と連携した生涯学習活動を展開した。</p> <p>○主な事業 家庭教育 三世代交流会、門松づくり 青少年教育 自転車通学点検、危険箇所点検、どんど焼き 成人教育 環境美化活動、クリスマスイベント、公園植樹 女性教育 各種教室、奉仕作業、福祉施設訪問、環境教室 高齢者教育 クロッキー大会、清掃活動、料理教室 人権・同和教育 人権・同和教育研修会、人権・同和教育懇談会 総合教育 地域づくり事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が延期、規模縮小などの対応をとることになったが、実施可能な事業については感染対策を講じながら行ってきた。今後も感染症の影響は避けられないことから、事業の在り方について工夫しなければならない。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 公民館は、地域の活動拠点施設として重要な位置づけにあり、地域の活性化につながる住民参加型の魅力ある事業を推進することが必要である。今後は地域づくり活動センターに向けた、地域づくり団体との協働の事業についても推進していきたい。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	1,451
取組事業	三瓶教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>公民館を生涯学習の拠点として、住民が自発的・主体的に活動できるように育成・援助しながら取組みを進める。小学校の統廃合以降、3地区公民館が協力し連携を図りながら、イベント及び講座事業を実施している。</p> <p>【実績】</p> <p>新規事業の実施や、既存事業は内容の見直しを行いながら取組みを行った。事業の告知など、SNSによる情報発信を進めており、これまで参加が少なかった若年・壮年層の受講や参加が増えつつある。</p> <p>○主な事業</p> <p>青少年教育 動物ふれあい教室、3*3バスケット大会、農業体験学習、書初め大会、</p> <p>成人・婦人教育 料理教室、干支押絵づくり、陶芸教室 つるし雛飾り、なんでもセミナー アロマテラピー講座</p> <p>社会体育 レクバレー大会、健康ウォーク</p> <p>高齢者教育 高齢者学級、クロッケー大会、健康教室</p> <p>各種展示会 手作り作品展、年賀はがきコンクール</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、講座・イベントの実施や貸館業務に制限がかかり、緊急事態宣言等が解除された期間のみ事業が実施できた。これまで生涯学習の現場では、「集う」ことを1つの柱として、事業を展開してきたが、これを根本から覆すような事態となったことから、今後の事業運営については、大きな見直しが求められる。</p>		

(C表)

成果指標	公民館運営審議会開催回数			
達成状況	C：未達成			
基準値(A)	目標値	実績値(B)	増	減
平成30年度	令和5年度	令和2年度	(B) - (A)	
2.3	3.0	1.9	△0.4	
分析・評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、開催を見送るケースもあったことから、開催数が減少している。今後も実施計画と事業の振り返りのほか、中間期にも開催を促し、次年度への事業の改善・反映などに取り組むよう努める。</p>			

(B表)

事務事業等	② 社会教育関係団体への支援と連携		
成果指標	設定なし		
担当課	生涯学習課	決算額(千円)	6,369
取組事業	社会教育団体育成事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 社会教育団体の育成・支援のため、運営経費の一部を補助として交付する。</p> <p>【実績】 PTA、愛護班、女性団体連絡協議会、壮年会、婦人会、ボーイスカウト、西予国際交流協会、青年団、野村町若葉会、野村ふるさとづくりの会の計10団体に補助金を交付した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 どの団体においても、会員の減少や高齢化、活動の低迷・マンネリ化が課題となっているが、更に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、予定どおりに活動ができなかった団体が多くあった。 団体活動内容を周りに幅広く知ってもらうことで会員増員を目指すとともに、新型コロナウイルス感染症を念頭に置いた「新しい生活様式」に沿った運営方法、イベント内容等に見直しをする必要がある。</p>		

(A表)

施策	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成
評価	やや遅れている
評価に対する分析	<p>市内71人の補導員により、街頭補導活動、イベントや祭礼時の移動補導センターの開設の活動を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で実施回数は例年より減少したが、実施の際には精力的な活動が行われた。</p> <p>西予市内で令和2年中に検挙補導された少年は4人で、令和元年より4人増加したが、県下でも少ない水準を保っている（西予地区防犯協会・西予警察署『令和2年生活安全白書』）。</p> <p>しかしながら、スマートフォンの普及により、近年課題となっている、インターネットやSNSでの被害は表面化が難しい。学校や警察と連携を行い、課題解決に取り組みたい。</p> <p>引き続き「見せる非行防止」として補導活動を実施するとともに、青少年問題の情報収集、補導員への周知、指導に努めたい。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 青少年健全育成体制の強化		
成果指標	設定あり（街頭補導回数） 設定あり（移動補導センター回数）		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	1,249
取組事業	青少年補導センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>青少年補導員が定期的な街頭補導活動を行い、各地区のお祭りや行事等で移動補導センターを開設するなど、青少年への声かけ・指導を実施していく。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街頭補導 78回 ・出動補導員数 延べ 151人 ・移動補導センター開設 2回 ・声かけ指導した少年数 290人 <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、例年のような活動ができなかった。限られた活動ではあったが熱意ある補導員が多く西予市の非行防止に努められた。</p> <p>今後は、インターネットやSNS、スマートフォンの普及等に起因する問題等の対処法について、補導員も理解・学習を深める必要がある。</p>		

(C表)

成 果 指 標	街頭補導回数			
達 成 状 況	D：未達成			
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増	減
平成30年度	令和5年	令和2年度	（B）－（A）	
102	130	78	△ 24	
分 析 ・ 評 価	新型コロナウイルス感染症の拡大期間中、補導活動を自粛したため、目標値に大きく届かなかった。			

(C表)

成 果 指 標	移動補導センター回数			
達 成 状 況	D：未達成			
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増	減
平成30年度	令和5年	令和2年度	（B）－（A）	
13	20	2	△ 11	
分 析 ・ 評 価	新型コロナウイルス感染症の影響で各種イベントが多数中止となったが、開催されたイベントでは移動補導センターを設置し、非行や問題行動を未然に防ぐことができた。			

(A表)

施策	(5) 図書館活動の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>城川分館が元年度末をもって閉館したものの、図書交流館まなびああんオープン2年目で軌道に乗ると想定していた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、27日間の休館及び通常開館後も来館者の自粛ムードが継続し、貸出人数は（市内全館で）令和元年度の53,876人から45,042人、貸出冊数は186,553冊から157,959冊と減少した。そのような状況下でも、各地域に分館があることで、移動手段の無い高齢者、子どもにとって身近な図書館サービスの提供ができています。そうした教育・生涯学習機関としての図書館を基盤として、今後一層市民生活をサポートし、地域づくりに貢献するため図書館機能を高めていく。なお、自館だけでは調達、解決できない資料提供やレファレンスサービスには、全国の図書館ネットワークを活用し、要望に答えている。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 読書活動の普及啓発		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	596
取組事業	ブックスタート事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>0歳児（4カ月児）健診の機会に絵本をプレゼントする事業である。乳児と保護者が、絵本を介して心触れ合う時間を持つきっかけをつくる。重ねて、3歳児健診時にも絵本（5種類の中から1冊）をプレゼント。</p> <p>また、小学1年生には「1年生のほんだな」として推薦図書を紹介したチラシを配布、読書習慣がつくよう継続的に実施する。</p> <p>【実績】</p> <p>関係各課の協力を得て、0歳児及び3歳児に対して漏れなく事業を実施できた。0歳児:177人、3歳児:200人。 小学1年生は各学校を通じて全員にチラシを配布した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>関係課（健康づくり推進課、支所生活福祉課、学校教育課）との連携により育児支援、家庭教育支援につながっている。豊かな情操を育む読書生活のスタートとなる大切な事業である。子ども読書推進計画に沿って読み聞かせ活動の充実、ボランティア団体の連携・育成を図り多角的に同事業をフォローする。</p>		

(B表)

事務事業等	② 図書館サービスの充実		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	2,043
取組事業	図書館電算システム管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>図書館システムを活用し、データ作成と検索の利便性向上、カウンター業務の効率化を図り、利用者に対する種々のサポート体制の強化に努める。また、社会教育の機関として教育・研究活動の支援、読書人口の増加という目的達成につなげる。</p> <p>【実績】</p> <p>図書館システムと連動したOPAC（ホック：オンラインパブリックアクセスカタログ：オンライン蔵書目録）のアクセス数【館内OPAC→自動検索機】【WEBOPAC利用】【携帯電話OPAC】【スマートフォンOPAC】も令和元年度の494,875件から1,254,277件へ2.5倍に急増するなど、日常的な環境となり利用者に必要なものとなった。図書館システムの活用で、図書館業務運営も順調に実施できている。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>まなびあんで導入している資料のIC化、自動貸出機、自動検索機の設置が、利用者の利便性を高めている。これらの図書館システムを使ったサービス業務や閲覧を行う利用者の増加は、図書館が身近なものであるとの意識が高まった証拠でもある。今後は、図書館システムと連携した図書館ホームページの充実により、さらなる情報発信、情報提供に努め、来館促進につなげていく。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンライン生活、学校現場でのICT授業の頻度が加速しており、時代に見合ったサービスの開拓に努める。</p>		

(C表)

成果指標	利用者数（図書を借りた人数）		
達成状況	B：概ね達成		
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増減
平成30年度	令和5年度	令和2年度	(B) - (A)
41,571	49,000	45,042	3,471
分析・評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止措置のため、27日間の休館及び通常開館後も来館者の自粛ムードにより、利用者が例年に比べ減少した。しかしながら、まなびあん開館2年目に入り、新規利用カード発行者数が着実に伸びていることや、交流施設の定期利用団体が増加傾向にあることから、利用者数の減少は一時的なものと考えられる。新型コロナウイルス感染症の収束後に備え、利用者目線に立ったさらなるサービス向上への取組みを行う必要がある。</p>		

重点目標 3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(A表)

施 策	(1) 文化財の保護と活用
評 価	順調
評 価 に 対 析 す る 分 析	<p>地福寺木造阿弥陀如来坐像（市指定）の修理が完了したほか、狩浜の文化的景観における整備事業がスタートした。香川大学主催による茶堂の茅葺き講座や文楽保存伝承事業も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、引き続き実施された。西予市文化財保存活用地域計画の作成に着手し、協議会での議論に加え、市民ヒアリングで文化財に関する課題の把握を進めることができた。小森古墳では墳形を確定するなど、順調な成果を上げている。</p> <p>引き続き文化財の保護と活用を計画的に進めるとともに、防災意識の向上にも努めたい。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事 務 事 業 等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成 果 指 標	設定あり（保護されている指定文化財の割合）		
担 当 課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	7,361
取 組 事 業	文化財保護推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内に所在する文化財の価値を洗い出し、市文化財保護審議会の意見をもとに指定したうえで、保存修理や防災防犯対策を講じることで適切に保存する。あわせて講演会等を通じて文化財の価値を広く市民と共有するほか、文化財の活用を図ることで、市民の文化的向上に資する。</p> <p>【実績】</p> <p>地福寺寺木造阿弥陀如来坐像（市指定）の保存修理、林庭院屋根修理（市指定）、龍澤寺方丈室屋根修理（市指定）に対して補助金を支出したほか、若宮神社（市指定）の看板を修理した。</p> <p>改正文化財保護法で新たに制度化された文化財保存活用地域計画の作成に着手した。作成に当たっては西予市文化財保存活用地域計画協議会を設置し意見を聴くとともに、公民館単位で市民ヒアリングを実施した。</p> <p>茶堂は、香川大学主催のかやぶき屋根のふき方講座による片平茶堂の茅葺き替えが行われた。このほか宝泉茶堂（城川町遊子川重谷）の瓦葺き替え、供養の松茶堂（同地区）の躯体補強工事に補助金を支出した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>文化財保存活用地域計画の作成に取り組むほか、指定文化財の保存修理等の支援、茶堂の維持管理、明浜歴史民俗資料館の展示の見直しなどに取り組む。</p>		

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（保護されている指定文化財の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	5,646
取組事業	文化的景観保護推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 重要文化的景観「宇和海狩浜の段畑と農漁村景観」の本質的価値を地域で共有し、文化財保護法や関係法令等にもとづく制度を活用して価値を守り次世代へ継承するとともに、これをまちづくりに活かす。 令和2年度からは、西予市文化的景観保護審議会における議論をもとに令和元年度に策定した整備計画に基づき、春日神社をはじめとする重要な構成要素等の修理・復旧、修景を進める。</p> <p>【実績】 ①文化的景観保護審議会（2回：8月、3月） ②春日神社（拝殿、中殿、幣殿、透塀）修理 ※令和3年度へ繰越 ※修理工事工程会議（12回：7月（2回）、8月（2回）、9月、10月（2回）、11月、12月、1月、2月、3月） ③オリヤ養蚕修理（完了）</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 保存修理により、狩浜の文化的景観の重要な構成要素を保存・継承することができ、文化的景観の本質的な価値の保護につながることができた。春日神社は、狩浜地区住民の紐帯ともいえる存在であることから、今後の文化的景観の保護にむけ大きな一歩となった。このほか、地区内での開発事業を審議会のみならず、地域住民とも情報を共有し、対応を協議する機会を得られたことは、地域全体で文化的景観を守るための枠組みの構築につながっていると評価できよう。 一方で、文化財の修理のあり方が十分に認識されていない場面も見受けられた。今後は、所有者や管理者、地域等と保護制度、文化財の価値、修理の考え方などを共有できるよう周知・啓発に取り組むたい。</p>		



地福寺木造阿弥陀如来坐像（市指定、修理後）



春日神社拝殿（重要文化的景観、修理後）

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（保護されている指定文化財の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	2,360
取組事業	埋蔵文化財発掘調査事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内遺跡詳細分布調査（国庫補助事業）により埋蔵文化財包蔵地の把握と周知に努め、埋蔵文化財保護の基盤を整備し、開発への対応を行う。西予市の重要遺跡について、保存と内容把握を目的とする試掘確認調査を行う。加えて、坪栗遺跡（山田）出土遺物の整理作業を進める。</p> <p>また、「四国八十八か所霊場と遍路道」の世界遺産化の動きの中で、歴史の道の調査を行い国史跡の指定を目指す。</p> <p>【実績】</p> <p>小森古墳（宇和町山田）を重要遺跡として位置づけ、引き続き試掘確認調査を行った。西側くびれ部の調査で、古墳のくびれ部を確認し、前方後円墳であることが明確となった。</p> <p>また、埋蔵文化財包蔵地の把握のため、宇和町内の古墳の分布調査を4件実施し、範囲や内容を確認した。</p> <p>歴史の道調査については、宇和島街道鳥坂峠越（宇和町久保）について、文献の調査を行った。</p> <p>整理作業では、上記遺物の他、坪栗遺跡の遺物整理を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>小森古墳の墳形が確定するなど大きな成果を得ることができた。</p> <p>今後も分布調査を継続しつつ、引き続き小森古墳の試掘確認調査に重点を置いて継続的に調査を行う。歴史の道調査では、宇和島街道鳥坂峠越（宇和町久保）の意見具申を目指したい。</p>		



小森古墳くびれ部試掘確認調査



妙法寺裏山古墳（宇和町田苗）分布調査

(C表)

成 果 指 標	保護されている指定文化財の割合			
達 成 状 況	A：達成済			
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増	減
平成30年度	令和5年度	令和2年度	（B）－（A）	
100%	100%	100%	0.0%	
分 析 ・ 評 価	指定文化財の滅失等はなく、地福寺木造阿弥陀如来坐像をはじめ保存修理が進められている。令和2年度からは西予市文化財保存活用地域計画の作成に着手した。令和5年度の国の承認を目指し作業を進めたい。			

(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし		
担当課	明浜教育課	決算額(千円)	88
取組事業	文楽保存伝承活動事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 愛媛県指定無形民俗文化財である俵津文楽の保存伝承活動の支援。</p> <p>【実績】 ○明浜中学校文楽指導(10月)9回 ○文楽人形展示(俵津地区産業文化祭)(2/13・14)</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 県の無形民俗文化財に指定されている俵津文楽は嘉永5年(1852)に浄瑠璃による人形芝居を若者に習わせたことに始まった。この文楽が町内にあることで地域の活性化が図られている。地域や座員も伝統文化の保存伝承に対する意識が根付いているが、座員は高齢化しつつあるため、新規座員の確保が今後の課題である。それだけに、本事業は重要であり、新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、十分な感染予防対策を講じたうえで、事業を継続していきたい。</p>		

(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし		
担当課	三瓶教育課	決算額(千円)	134
取組事業	文楽保存伝承活動事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 愛媛県指定無形民俗文化財である朝日文楽の保存伝承活動事業。こども朝日文楽クラブの募集をし、月2回程度練習を行って後継者育成を図る。</p> <p>【実績】 例年、朝日文楽伝承定期公演(9月)、三瓶町文化祭(10月)及び町内老人福祉施設を訪問(3月)し、公演を行い練習の成果を発表しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため全て中止。三瓶中学校文化祭(11月)、クラブ員のご家族を招待しての公演(3月)を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 こども朝日文楽クラブで教えを受けた児童、生徒が、将来朝日文楽のメンバーとして文楽を受け継ぐような体制づくりが求められる。組織体制の強化及びサポート体制の構築を実現するために、朝日文楽の披露の場を増やし、保存会員の確保を図るとともに、後継者の育成も必要である。それだけに本事業は重要である。また、人形、衣裳等の修繕も必要であり、文楽会と協議し計画的な修繕を行っているところである。</p>		

(A表)

施策	策	(2) 文化の振興
評価	価	やや遅れている
評価に 対する 分析		<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、長野県松本市との中学生の交流事業、各地区の文化祭や芸能発表、公民館単位の文化祭などの多くが中止または延期を余儀なくされた。</p> <p>練習、発表、鑑賞、交流の機会や場の多くが失われることにより、文化の振興ばかりでなく伝統芸能の継承にも大きな影を落としている。文化会館等では感染症対策を講じるが、一日も早い感染症の収束が望まれる。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（文化祭等参加団体数及び文化会館利用者数）		
担当課	城川教育課	決算額（千円）	2,449
取組事業	全国かまぼこ板の絵展覧会事業（令和2年度第26回は延期）		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 平成7年度から毎年実施している。全国「かまぼこ板の絵」展覧会開催のため、かまぼこ板に描いた絵を公募し、応募のあった作品から入選作品の選考を実施のうえ応募作品はすべて展示する展覧会。</p> <p>【実績】 令和2年度に開催予定であった第26回全国「かまぼこ板の絵」展覧会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、展覧会を1年延期とし、追加募集を行った。 （参考：令和2年度中の応募作品数7,051作品）</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため延期になったことから例年との比較が難しい。一定のファン層はあるものの、少子高齢化や人口減少、マンネリ化等による応募数の自然減は生じているため、新規応募者確保に向けたPR手法を検討した事業運営を行う。</p>		



第26回全国「かまぼこ板の絵」展覧会募集チラシ（追加含む）

(C表)

成 果 指 標	文化祭等参加団体数及び文化会館利用者数			
達 成 状 況	C：未達成			
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増	減
平成30年度	令和5年度	令和2年度	（B）－（A）	
団体数：145団体 利用者数：75,959人	団体数：145団体 利用者数：80,000人	団体数：26 利用者数：31,989人	△ 119 △ 43,970	
分 析 ・ 評 価	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、文化祭等の大半が中止となった。また、文化会館においても、感染症対策を講じてはいるものの、自主事業の中止や施設利用の自粛要請などもあり、利用者数は大幅に減少した。			

(A表)

施 策	(3) 文化活動の環境と基盤の整備
評 価	概ね順調
評 価 に 対 析 す る 分	<p>市内2つの文化会館は共に平成2、3年度に開館し老朽化が著しい。</p> <p>令和2年度、宇和文化会館では舞台機構設備の制御盤・操作盤の改修、三瓶文化会館ではエレベーターの部品交換、トイレ改修などを実施した。また、新型コロナウイルス感染症対策として、非接触で体表面温度を測定するサーマルカメラを導入するなど、利用者が安心して文化活動に取り組むことができる環境づくりに努めた。今後も緊急性の高い箇所から計画的な整備を進めていく必要がある。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事 務 事 業 等	① 文化施設の整備・充実		
成 果 指 標	設定あり（各施設の入館者数）		
担 当 課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	53,290
取 組 事 業	宇和文化会館管理運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>平成3年12月に開館後、財団法人宇和文化会館が管理受託、平成18年度からの指定管理者制度移行後も、同法人が引き続き（平成24年度途中に一般財団法人に移行）管理している。この指定管理者に対して、文化会館管理運営委託料を支出するものである。</p> <p>【実績】</p> <p>舞台機構設備（制御盤、操作盤）の修繕工事を行ったほか、新型コロナウイルス感染症対策としてサーマルカメラを導入した。また、点検報告書等に基づき、設備や施設の不具合箇所等を把握し、改修計画を作成した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4、5月を休館とした。感染防止対策を徹底しつつ館運営に努めたが、予定していた自主事業はすべて中止、市民参加の事業も中止となった。貸館は大ホール、中ホールの予約が46件、延べ63日分キャンセルとなり、使用料収入が3,493千円減少した。貸館は平成31年度の31,388人に対し14,600人と半分以下に減少。大きな影響を受けた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>建設から30年が経過し、施設・設備とも老朽化が進むため、緊急性の高いものから計画的に改修や更新を進める必要がある。利用者の安全安心を確保しながら市民が文化に触れる機会の増加につなげたい。</p> <p>未曾有の感染症に対しても、十分な予防措置を講じ、安心して利用いただける環境を整えたい。</p>		

(B表)

事務事業等	① 文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（各施設の入館者数）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	41,720
取組事業	三瓶文化会館管理運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 三瓶文化会館の維持管理及び運営を行う。施設利用は予め1週間前までに申請書を提出後、教育委員会の許可を受け利用する。最長半年先まで申請可能。利用料金(減免含む)は、西予市三瓶文化会館条例第10条に規定されている。 開館時間 午前9時00分から午後10時00分まで 休館日 12月28日から翌年1月4日まで</p> <p>【実績】 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、トイレの洋式化工事等、網戸の設置、サーマルカメラの設置などを行った。令和2年度利用実績は延べ15,833人で、文化活動、生涯学習教室、各種イベント、図書館、プラネタリウム等多数の市民に利用いただいたが、昨年度比で約34%の減少となった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 平成3年の開館以降、年々利用者は減少傾向にあるが、修繕など維持経費が増加傾向にある。今後貸館を停止するような緊急事態の無いよう計画的に優先順位をつけ修繕等を行い、多くの市民に利用いただけるよう努める。</p>		

(C表)

成果指標	各施設の入館者数			
達成状況	C：未達成			
基準値(A)	目標値	実績値(B)	増	減
平成30年度	令和5年度	令和2年度	(B) - (A)	
111,764	112,000	55,978	△ 55,786	
分析・評価	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、事業の中止や延期、休館、利用の自粛などの対策を講じた。施設の利用者数は前年度に比べ半分程度と大きく減少した。各施設ではサーマルカメラの設置等の対策も講じているが、計画的な施設や設備の改修や更新による、安心安全の確保を引き続き図っていく必要がある。</p>			

重点目標 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

(A表)

施策	(1) スポーツの普及・推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったイベントもあったがスポーツ協会やスポーツ推進委員協議会、スポーツクラブと連携し、スポーツイベントを開催することで、市民がスポーツに親しむことのできる機会の増加を図ることができた。今後も、市民がスポーツに親しむことで、相互の親睦・交流を深め、健康・体力の保持増進につなげたい。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定なし		
担当課	スポーツ・文化課	決算額(千円)	150
取組事業	総合型地域スポーツクラブ補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 西予市総合型地域スポーツクラブ育成振興補助金交付要綱に基づき、総合型地域スポーツクラブ活動支援のため補助金を交付する。</p> <p>【実績】 令和2年度実績は以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ・みかめスポーツクラブ 50千円 ・のむらスポーツクラブ 50千円 ・文化の里スポーツクラブ 50千円 </p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 各クラブの魅力ある事業の支援及び広報せいや市HPでの紹介などの情報発信を通じてクラブ会員の増加を目指すとともに、市民の健康増進に向けてのきっかけづくりが進んでいる。 今後も、次世代を担う青少年の体力向上及び人格形成、地域交流を促進し、体育振興に大きな役割を果たす総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。</p>		



のむらスポーツクラブ ジュニアスポーツサポート事業



みかめスポーツクラブ ライフ・チャレンジ・ザ・ウォーク2020 ニュースポーツ体験

(B表)

事務事業等	① スポーツ施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（社会体育施設年間利用者数）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	2,257
取組事業	体育施設維持管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 多くの市民が施設を利用することにより、西予市におけるスポーツの推進を図るとともに、市民の健康増進及び体力向上に資するため、市内の社会体育施設及び学校開放施設の維持管理を行う。</p> <p>【実績】 社会教育（体育）施設の利用者数（利用回数） 明浜地区 2,839人 宇和地区 52,668人 野村地区 18,882人 城川地区 4,021人 三瓶地区 11,888人</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 西予市におけるスポーツの推進を図るとともに、市民の健康増進市民の健康増進及び体力向上に資するため、市内の社会体育施設及び学校開放施設の維持管理は必要である。</p>		

(C表)

成果指標	社会体育施設年間利用者数			
達成状況	C：未達成			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成30年度	令和5年度	令和2年度	（B）－（A）	
162,039人	163,000人	90,298人	△ 71,741人	
分析・評価	新型コロナウイルス感染症の蔓延により、施設の休館や各種イベント等の中止もあり、利用者数が激減している。今後も引き続き、感染フェーズに応じた感染症対策を講じながら、市民の安心・安全な利用に努めていくこととしたい。			

(A表)

施 策	(2) 施設の有効活用とトップアスリート等との交流促進
評 価	やや遅れている
評 価 に 対 析 す る 分	新型コロナウイルス感染症の蔓延により、予定されていた全日本実業団相撲大会、全日本ソフトボールリーグ、愛媛マンダリンパイレーツ公式戦、NPBガールズトーナメント等の全国規模のトップアスリートが集う大会は中止となった。いずれも令和3年度に延期して行われることとなっている。今後も、感染フェーズに応じた感染症対策を講じながら、市民の健康増進と体力向上のため、施設の有効活用に努めていきたい。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 競技スポーツの振興		
成果指標	設定あり（全国大会出場件数）		
担 当 課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	304
取 組 事 業	全国大会出場選手支援事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 個人又は団体競技において、予選会を経て全国大会・国際大会へ出場する選手に対して報奨金を交付するとともに、高校生以下については、合わせて横断幕を掲出する。</p> <p>【実績】 令和2年度 17件</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 新型コロナウイルス感染症の影響で全国大会が軒並み中止となり、例年に比べて申請件数が大幅に減少した。今後、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、大会が開催されると全国大会出場者数は回復する見込みである。</p>		

(C表)

成果指標	全国大会出場件数		
達成状況	C：未達成		
基準値(A)	目標値	実績値(B)	増 減
平成30年度	令和5年度	令和2年度	(B) - (A)
62件	70件	17件	△ 45件
分析・評価	新型コロナウイルス感染症の蔓延により、全国大会の中止が相次いだため大会の絶対数が減少した。今後、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、大会が開催されると全国大会出場者数は回復する見込みである。		

V 学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性

1 「生きる力」を育む学校教育の推進

(1) 確かな学力の育成

【学識経験者の意見】

(小・中学校情報教育振興事業)

市内小中学校の児童生徒に1人1台端末を整備したことが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下において幸いしたと思う。今後とも柔軟な対応、有効な活用をお願いしたい。

各家庭のWi-Fi環境にも左右されると思うが、市内小中学校におけるオンライン授業など、端末を利用した実績や今後の計画はどうなっているのか。

《今後の取組の方向性》

(小・中学校情報教育振興事業)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度から端末を使った学習等ができるように、前倒しで事業を進める必要があり、令和2年度に端末や、Wi-Fi環境のない家庭のためのモバイルルーターなど情報教育環境を整備した。

長時間のオンライン授業を行うためには、現在のギガ数では限りがあるが、臨時休業中のオンライン授業や健康状況の確認をした。また、冬休み中に学級担任が端末を使って児童生徒と新年のあいさつを行ったり、不登校の児童生徒が、家庭で端末を使って授業を受けたりするといった事例もあった。なお、令和3年度にモバイルルーターのギガ数を増やしたところである。

また、令和3年度は教員のICTスキル向上のため、研修会を3回実施する予定である。

(5) 特別支援教育の推進

【学識経験者の意見】

(小・中学校生活支援員設置事業)

現在、生活支援員のいない学校運営は困難になっている状況と思う。児童生徒の共通認識を持つため、保護者と学級担任、生活支援員との情報交換は行っていると思うが、状況によっては、学童保育等との情報交換も必要になると思う。現状はどうか。

また、適切な支援の結果、生活支援員なしで学校生活を送れるようになった児童もいるようであり、予算を確保して継続してもらいたい。

《今後の取組の方向性》

(小・中学校生活支援員設置事業)

特別支援教育に関する理解が進み、設置の要望が増えている状況である。

情報交換については、勤務形態の違いにより、学級担任と生活支援員の情報交換の時間が確保しにくいこともあるが、空き時間の活用など工夫して行っている。また、学童保育等から要望があれば、守秘義務等に気を付けながら、児童生徒のため必要な情報交換は行っていると考えている。

なお、生活支援員設置の最終的な目標は児童生徒の自立であり、3年の継続を一つの目

安と考えている。

3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(1) 文化財の保護と活用

【学識経験者の意見】

(文化財保護推進事業)

作成している文化財保存活用地域計画が国から認定された後、国庫補助の優遇措置等の制度を有効活用し、文化財の保存伝承、活用に取り組んでもらいたい。

《今後の取組の方向性》

(文化財保護推進事業)

文化財保存活用地域計画は令和4年度に作成し、令和5年度に国の認定を申請する予定である。以後、計画に基づく文化財の保存・活用進めていく。

4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

(1) スポーツの普及・推進

【学識経験者の意見】

(体育施設維持管理事業)

維持・管理等困難なことも多々あると思うが、市内に競技・生涯スポーツの拠点となる施設（プールを含む）があればいいと思う。

《今後の取組の方向性》

(体育施設維持管理事業)

宇和運動公園や乙亥会館等が拠点の一つと考えているが、今後の検討課題としたい。



西予市教育委員会

〒797-8501 西予市宇和町卯之町三丁目 434 番地 1

Tel : 0894-62-6430 (教育総務課) Fax : 0894-62-6584

E-mail : kyouikusoumu@city.seiyo.ehime.jp